

Keio University Hospital



慶應義塾大学病院

初期臨床研修プログラム 2025



慶應義塾大学病院の理念

患者さんに優しく患者さんに信頼される患者さん中心の医療を行います
先進的医療を開発し質の高い安全な医療を提供します
豊かな人間性と深い知性を有する医療人を育成します
人権を尊重した医学と医療を通して人類の福祉に貢献します

慶應義塾大学病院

臨床研修修了
コンピテンシー

- I. プロフェッショナリズム
- II. 医学知識
- III. 診療の実践
- IV. コミュニケーション
- V. 医療・福祉への貢献
- VI. 科学的探究
- VII. 国際医療人としての資質
- VIII. 医療安全と医療の質
- IX. チーム医療



豊かな人間性と深い知性を有する医療人を目指そう

プログラム総責任者 病院長 松本 守雄

慶應義塾大学病院（慶應病院）は2022年5月に約10年かけて行ってきた新病院棟の建設事業を完了させ、新しい病院としてグランドオープンいたしました。患者の方々に、より質の高い、より安全な医療を提供するとともに、次の時代を担う医療人を育成する新たな舞台が整っています。

慶應病院は1920年に北里柴三郎博士を初代病院長として開院いたしました。北里博士は「各科の分立を防ぎ、基礎医学と臨床医学の連携を緊密にし、学内は融合して一家族の如く、全員で医学の研鑽に努める」ことを方針に掲げました。その後、100年以上にわたり北里博士の精神を脈々と受け継ぎ、今では国内外からも高く評価される病院となりました。現在、慶應病院では31の診療科が互いの垣根を無くし、すべての職種が協力して患者の方々に質の高いチーム医療を提供しています。

慶應病院は特定機能病院として主に高度急性期医療を担っており、がん、免疫、神経、小児周産期、感覚器、運動器など様々な領域の医療を提供するともに、がんゲノム医療や政府支援によるAIホスピタルモデル病院として先端的な医療にも取り組んでいます。手術・血管造影センター、ICU・HCUからなる集中治療センター、救急センター、

内視鏡センターなどが有機的に連携をしながら、救急患者の受け入れを増やして地域の救急診療体制に貢献するとともに、手術や集中治療などの体制を強化し、大学病院としての高度な医療の提供を推進しています。さらに数多くの関連病院や医療連携協力機関とともに地域医療にも貢献しています。

病院理念に「豊かな人間性と深い知性を有する医療人の育成」を掲げており、初期臨床研修医の教育には特に力を入れています。慶應病院はもとより、関連病院、連携医療機関にも教育熱心な指導医が数多く在籍し、チームの一員となった研修医の皆さんに対し親身になって指導に当たってくれています。研修プログラムを通じて医師としての基本的な知識、態度、考え方、医療技術を身につけるだけでなく、将来のキャリアパスにも道を開き、希望に応じて慶應関連の豊富な専攻医プログラムに進む機会にもつながります。

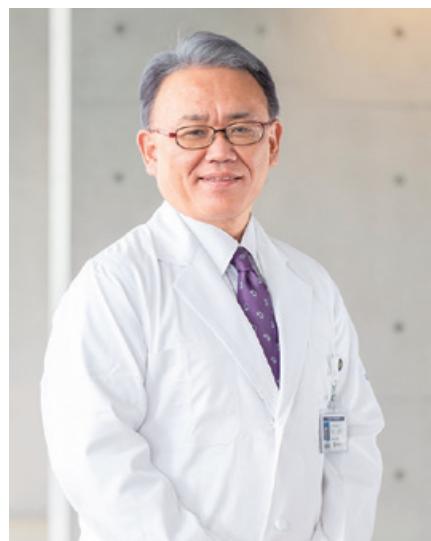
さらに病院理念には「患者さんに優しく、患者さんに信頼される、患者さん中心の医療を行う」とことも掲げています。患者の方々やそのご家族の立場やお気持ちを考えた優しい診療を常に心がけ、医療者と患者・ご家族との間に信頼関係を築き、あら



ゆる職種で構成される医療チームの中心に患者の方々を置き、最善の医療を提供することを目指します。是非、研修医の皆さんにそのチームに加わっていただき、患者に優しい、人間性豊かな医療人を目指して研修に励んでいただけることを願っています。

新病院で、百年の伝統を継承し、熱意ある仲間とともに 「明日の医学・医療を担う医師」を目指しましょう !!

卒後臨床研修センター長 門川 俊明



近年、臨床研修では、大学病院ではなく、市中病院を選ぶ方が増えています。様々な手技を体験できるということが市中病院の人気の一因だと思います。一方で、慶應義塾大学病院のような大学病院で臨床研修をおこなうことのメリットは何でしょうか。一つには、どの診療科にも日本を代表する医学の専門家が集まっており、診断や治療の難しい患者さんに遭遇したとしても、すぐに正確なアドバイスを得られると言うことだと思います。臨床研修の目的は、医師としての基本的技能や態度を身につける

ことですが、3年目以降に自分が進むべき専門科を決めるというキャリア選択も重要な問題だと思います。慶應義塾大学病院には、どの診療科にも多くの専門家がいて、各診療科の全領域をカバーしています。自分が将来進みたい診療科をじっくり体験できることも大きなメリットでしょう。また、日本トップクラスの医学研究を間近で体験できることも大きなメリットだと思います。

2019年に新しい病院がオープンして、ハードウェアとしては素晴らしいものになりました。2024年よりセンター長として私が着任しました。慶應義塾大学病院の臨床研修プログラムが日本一のプログラムになるよう、病院をあげて、情熱をもって研修医教育をおこなう体制にいたします。是非、多くの優秀な研修医が集まっていたいと思います。



CONTENTS

- | | |
|----|------------------|
| 1 | 病院の理念 |
| | 臨床研修修了コンピテンシー |
| 2 | 病院長メッセージ |
| | 卒後臨床研修センター長メッセージ |
| 3 | 地域 - 大学循環コース |
| | 大学一貫コース |
| 4 | 小児科医育成コース |
| | 産婦人科医育成コース |
| 5 | 基礎研究医コース |
| | 研修医メッセージ |
| 6 | 研修レポート |
| | 専修医研修プログラム |
| 7 | 研修環境・院内施設 |
| | スケジュール・医科研修医募集要項 |
| 8 | 歯科・口腔外科プログラム |
| | 歯科・口腔外科研修医募集要項 |
| 9 | |
| | |
| 10 | |
| | |
| 11 | |
| | |
| 12 | |
| | |
| 13 | |
| | |
| 14 | |
| | |
| 15 | |
| | |
| 16 | |
| | |
| 17 | |
| | |
| 18 | |

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

地域 - 大学循環コース

2025年度定員 28名(予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 協力型臨床研修病院と、慶應義塾大学病院で1年間ずつ研修するコースです。

1年次に協力型臨床研修病院で研修

1年次	内科 (24週)			救急(8週)+麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1~4診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅 医療を含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)	麻酔 (4週)	選択 (~40週)	

○一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○原則、1年次に救急科を研修し、2年次に麻酔科を研修します。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を必ず研修します。○協力型臨床研修病院によっては、1年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

2年次に協力型臨床研修病院で研修

1年次	内科 (24週)			救急(8週)+麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1~3診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を 含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)		選択 (~40週)	

○一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を必ず研修します。

○協力型臨床研修病院によっては2年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE 01

[研修医からのメッセージ]

幅広い選択肢の中で真にマッチした研修環境を

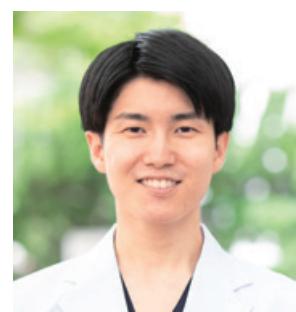
「良い研修先」と一口に言っても、自分にどのような研修が合っているのかを判断するのは難しく、正解も一つではありません。その中で私が本コースを選んだ理由は「幅の広さ」にあります。

慶應義塾大学病院は多彩な診療科を有し、豊富な指導医の下で研修を行うことができます。これは、充実した環境で診療を学べるという意味だけでなく、初期研修修了後の進路を考える上でも重要です。様々な先輩医師と働く中で、将来の専門やキャリアプラン、ワークライフバランスなど、幅広い可能性の中で考慮できるのは大きな魅力かと思います。

当コースでは、協力型臨床研修病院にて1年間研修を行います。地域や研修体制も様々で、私のよう

に二つの大学病院で研修を行うというパターンもあります。皆さんのが初期研修に何を求めるかによって、30以上の選択肢の中から希望することができます。研修の充実度だけでなく、双方の病院で研修医同期の友人ができるのも私個人としては大きな魅力に感じています。

私自身、学生時代はどのような研修先が良いのかとても悩みましたが、結果として自分に合った研修ができていると実感しております。本パンフレット含め、書面やインターネットでは様々な情報が手に入りますが、実際に目で見て、直接話を聞くに勝るものはないかと思います。是非一度当院にお越しいただき、施設や研修の雰囲気を感じ取ってみてください。



2023年度
地域-大学循環コース
齊藤 圭祐
(1年目、東京大学医学部附属病院
2年目、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

協力型臨床研修病院と大学病院の双方で、バランスのよい臨床研修を!

協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院を1年間ずつ研修するプログラムです。市中病院で豊富なCommon Diseaseの診療経験と手技を、また大学病院で高度先進医療の双方をバランスよく習得することができます。当コースは30以上の協力型臨床研修病院を擁しており、それぞれの施設が特徴を生かした魅力的な研修プログラムを提供しています。(各病院の研修内容は卒後臨床研修センターのホームページからダウンロードできます)他の1年間は、慶應義塾大学病院で研修を行います。大学病院での研修を1

年目に選択すれば、基本領域をアカデミックな環境で研修でき、また2年目に選択すれば、最大40週の選択研修期間のなかで、将来の進路を考えながら様々な診療科で研修することができます。いずれの研修でも、経験豊富な指導医から最先端の医学知識と手技を学べます。バランスの良い臨床研修生活を送りたい方はぜひご応募ください。

[プログラム責任者]卒後臨床研修センター
副センター長 堀 周太郎

TRAINING INSTITUTIONS

2025年度 協力型臨床研修病院一覧と定員

順位	病院名	所在地	地域-大学循環		所在地	病院名	地域-大学循環	
			1年次	2年次			1年次	2年次
1	太田綜合病院附属太田西ノ内病院	福島県	1	1	18	医療法人財団荻窪病院	東京都	3 3
2	独立行政法人国立病院機構 茨城東病院	茨城県	2	0	19	日野市立病院	東京都	1 0
3	水戸赤十字病院	茨城県	1	0	20	稻城市立病院	東京都	1 1
4	独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター	栃木県	1	1	21	国家公務員共済組合連合会 立川病院	東京都	3 1
5	足利赤十字病院	栃木県	2	0	22	横浜市立市民病院	神奈川県	3 0
6	那須赤十字病院	栃木県	1	0	23	川崎市立川崎病院	神奈川県	4 0
7	栃木県済生会宇都宮病院	栃木県	4	4	24	川崎市立井田病院	神奈川県	2 0
8	佐野厚生総合病院	栃木県	0	0	25	平塚市民病院	神奈川県	2 2
9	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	群馬県	0	0	26	社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市東部病院	神奈川県	1 0
10	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	埼玉県	0	0	27	神奈川県厚生農業協同組合連合会 伊勢原協同病院	神奈川県	1 0
11	さいたま市立病院	埼玉県	2	0	28	医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院	神奈川県	2 0
12	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	埼玉県	0	1	29	湘南東部総合病院	神奈川県	0 0
13	国際医療福祉大学成田病院	千葉県	0	0	30	独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター	静岡県	1 1
14	東京大学医学部附属病院	東京都	2	0	31	静岡市立清水病院	静岡県	1 0
15	北里大学北里研究所病院	東京都	1	0	32	静岡赤十字病院	静岡県	1 1
16	公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院	東京都	2	0	33	浜松赤十字病院	静岡県	1 0
17	公益財団法人ライフ・エクステンション 研究所付属永寿総合病院	東京都	1	1				

※協力型臨床研修病院（予定） 2024年5月現在。上記から変更となる可能性があります。



14 東京大学医学部附属病院



32 静岡赤十字病院



17 公益財団法人
ライフ・エクステンション
研究所付属永寿総合病院



22 横浜市立市民病院



19 日野市立病院

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

大学一貫コース

2025年度定員 20名(予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間を慶應義塾大学病院で研修するコースです。

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1~3診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む:4週)	外科・小児・ 産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)		選択 (~40週)

○一般外来研修は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療で4週以上行います。

○1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。

○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

※ローテーションは順不同

MESSAGE 02

[研修医からのメッセージ]

自由度の高い研修プログラムで、主体性のある研修生活が送れます

慶應義塾大学病院は最新の施設や設備を数多く備えた病院で、最先端の医療を学べる環境があります。臨床と研究の両方で活躍されている先生が多くおられ、高度な専門性を要する難治疾患を経験できます。救急外来ではcommon diseaseの症例を経験できるので、研修医として求められる診療スキルや基本手技を幅広く学べます。

大学一貫コースは自由度の高いコースで選択期間が40週と長いため、自分に合ったプログラムを組むことができます。当院は選択できる診療科が多いので、2年間の研修期間で様々な診療科の業務を経験できます。さらに、日頃の業務で生じたclinical questionを詳しく調べて発表する機会も多くあります。発表を準備する際には丁寧にご指

導をいただけるので、学術的な面も成長できます。

恵まれた環境と自由度の高い研修プログラムの中で、主体性のある研修生活が送れることが本コースの魅力だと思います。様々な診療科を選択した場合は多様な疾患を経験できますし、特定の診療科を長期間選択した場合はその診療科の理解を深めることができます。また、当院は研修医の数が多く、全国から研修医が集まるこども特徴です。多種多様な背景や目標を持つ仲間と助け合いながら研修することで視野を広げることができます。

慶應義塾大学病院の大学一貫コースは、研修修了後の将来を見据えて自分の考えを持って研修したい方には適したコースだと思います。皆様とお会いできる日を楽しみにしております。



2023年度
大学一貫コース
門田 健明
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

素晴らしい環境の中、自由度の高いプログラムで将来を見据えた研修ができます

2年間を慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。選択の自由度が高いのが特徴です。慶應義塾大学病院には全ての診療科が揃っています。また、特定機能病院や臨床研究中核病院等に認定されており、指導医は各分野で活躍をされている方ばかりです。そのような環境で各診療科の特徴や将来性をご自身で感じていただきながら、じっくりと初期研修修了後の進路を考えることができます。当プログラムを通じて医学知識や診療技能の獲得に留まらず、プロフェッショナリズム、コミュニケーション、医療安全や

チーム医療への理解を深め実践することで、どこへいっても必要とされる優れた人材になります。ぜひいらしてください。医師として大切な最初の2年間を慶應義塾大学病院で一緒に学べることをお楽しみにお待ちしております。

[プログラム責任者]卒後臨床研修センター
副センター長 本間 康一郎

TRAINING INSTITUTIONS

2025年度 地域医療研修先病院一覧



	病院名	所在地		病院名	所在地
1	江戸川メディケア病院	東京都	19	関野小児科内科クリニック	神奈川県
2	新潟県厚生農業協同組合連合会 小千谷総合病院	新潟県	20	医療法人賛永会 さつきホームクリニック	栃木県
3	公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院	群馬県	21	医療法人社団Matera 丸山クリニック	神奈川県
4	野村皮膚科医院	神奈川県	22	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック柏	千葉県
5	医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック	東京都	23	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック川口	埼玉県
6	医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック	愛媛県	24	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック品川	東京都
7	医療法人ゆうの森 たんぽぽ俵津診療所	愛媛県	25	医療法人社団悠翔会 くらしケアクリニック城東	東京都
8	医療法人 明医研ハーモニークリニック	埼玉県	26	医療法人社団悠翔会 悠翔会くらしケアクリニック練馬	東京都
9	医療法人慶聴会 矢澤クリニック北本	埼玉県	27	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック新宿	東京都
10	医療法人慶聴会 矢澤クリニック渋谷	東京都	28	医療法人財団はるたか会あおぞら診療所うえの	東京都
11	医療法人社団友仁会 赤坂見附前田病院	東京都	29	キラリこどもクリニック	東京都
12	社会医療法人河北医療財団天本病院	東京都	30	医療法人社団淳友会 わたクリニック	東京都
13	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター	千葉県	31	医療法人社団健育会西伊豆健育会病院	静岡県
14	岡崎クリニック	東京都	32	国民健康保険 平戸市民病院	長崎県
15	医療法人社団楓の風 在宅療養支援クリニックかえでの風	東京都	33	社会医療法人 青洲会 青洲会病院	長崎県
16	医療法人社団ほっきたなら駅上ほっとクリニック	千葉県	34	医療法人医理会 柿添病院	長崎県
17	医療法人社団ファーストムーブメント 木村メディカルクリニック	東京都	35	平戸市立生月病院	長崎県
18	医療法人社団 涌泉会 山王リハビリ・クリニック	東京都			

*地域医療研修先（予定）2024年5月現在。上記から変更となる可能性があります。

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

小児科医育成コース

2025年度定員 2名(予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間を慶應義塾大学病院で研修する、小児科医を目指す人のためのコースです。



○麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします(本コースについては、更に麻酔科を+4週としています)。

○一般外来 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週間以上行います。

○病院長から特別な許可を得て、合計最大で3か月まで大学以外の施設(東京都小児総合医療センター、川崎市立川崎病院、さいたま市立病院(小児科、NICU)など)での研修も可能です。

二葉乳児院や島田療育センターの子どもを通じて社会情勢を学ぶ事も可能です。

*当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。



都立小児総合医療センター

MESSAGE from CENTER STAFF

臨床能力に加えて豊かな人間性や科学的探究心を持つ小児科医を育成します

厚生労働省が定めた医師臨床研修制度の基本理念を基に、将来の小児科医を育成するために子どもに関わる診療科を重点的に研修するために組まれたプログラムです。

当院の小児科・NICUを中心としながら、小児外科・産科、さらには自由選択で連携施設である市中病院の小児科・NICUで研修する事で、子どもに関連する幅広い疾患を経験することが出来ます。

小児科研修のみならず、内科・外科研修・地域医療研修を通じて数多くの患者さんに接し、診療する事で、医師として必要な基本的臨床能力を身に

つけるだけでなく、その人格をかん養し、科学的探究心を持ち続けられる人材を育成する事を目指しています。

子どもを治す事に喜びを感じ、自分自身も成長し続けたいと考えている方には最適の環境です。皆様にとって、ロールモデルとなる小児科医とも会えると思います。是非、慶應義塾大学病院小児科医育成コースに入り共に学んでいきましょう。

[プログラム副責任者]卒後臨床研修センター
有光 威志

MESSAGE 03

【小児科医育成コースの研修医からのメッセージ】

最高の環境で最高の仲間と医師の第一歩を

慶應義塾大学病院は、各科で専門的な知識や経験を生かし、最先端な治療をしています。小児科では複合、精神保健、新生児、心臓、血液、PICUのいずれかの班を希望し、研修をすることができます。また当コースでは、2年次の選択期間に関連病院の小児科をローテートできることが魅力的な点として挙げられます。昨年度から選択期間が6ヶ月に増え、さらに可能性の幅は広がりました。大学病院では専門性の高い疾患を深く学び、市中病院ではcommon diseaseを幅広く診療するという、双方の利点を生かした研修ができます。

私は小さい頃から小児科医になりたいと考えていましたが、どの分野を専門にするかという見通しが定まっていませんでした。しかし研修を通して、自分の思い描く小児科医としての将来像を確立できていると感じています。

初期研修病院を決める時、「同じ志を持った仲間と研修がしたい」と思い、当院を志望しました。慶應義塾大学病院には尊敬できる先生、切磋琢磨できる仲間がたくさんおり、医師としてだけではなく、人として学べることがたくさんあります。みなさんと一緒に働くことを待ちにしています。



2022年度
小児科医・産婦人科医育成コース
(小児科選択)
酒井 英知
(2年間、慶應義塾大学病院)

産婦人科医育成コース

2025年度定員 2名(予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間を慶應義塾大学病院で研修する、産婦人科医を目指す人のためのコースです。



- 麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
- 一般外来 一般外来研修は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療で4週間以上行います。
- 小児科研修を新生児救急としてNICU研修とすることも可能です。
- 産婦人科研修期間中に限り、産婦人科当直研修をすることが可能です。
- *当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

医科

MESSAGE from CENTER STAFF

産婦人科以外の診療科ローテートにこそ初期研修の意義

本コースは、原則、産婦人科医を志望する方向けにプログラムを組んでいます。

産婦人科の診療内容は多岐にわたります。妊娠、出産、不妊治療～悪性腫瘍の手術、化学療法まで、と内科的、外科的に側面を持ち合わせています。それ故、様々な関連診療科との連携が重要です。

実は、産婦人科以上に、そういった関連診療科をローテートすることが重要であり、選択期間を長く設定しています。

初期臨床は関連診療科側から産婦人科のことを見られる良い機会であり

ますし、指導医も志望をわかっているので、「産婦人科医になるなら知っておいたほうがいいポイント」に絞った指導も望めます。より効率的な2年間になりますので、志望が決まっている方には特にオススメです。

また産婦人科一択でなく、他の診療科に進んだとしても、産婦人科的な視点、また女性を診療するということの基本が身につくというメリットがあります。志望によらず、女性のミカタになりたい方、お待ちしております！

[プログラム副責任者]卒後臨床研修センター
野上 侑哉

MESSAGE 04

【産婦人科医育成コースの研修医からのメッセージ】

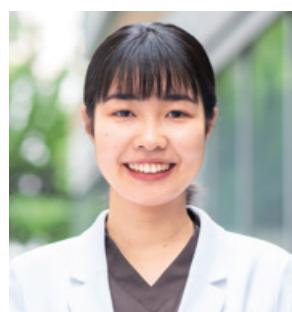
百聞は一見にしかず、是非一度見学にいらしてください

産婦人科サブスペシャリティ4分野のスペシャリストが揃っている当院でcommon diseaseから最先端医療まで幅広く学びたいと思い、産婦人科医育成コースを選びました。また、病院見学の際、先生方がお忙しい中でもいきいきと働かれていて、私もチームの一員として働きたいと感じたからです。

当院での研修医当直は救急外来のみで病棟当直は経験できないのですが、当コース選択者は産婦人科病棟当直を経験できることも魅力の一つです。実際に働いていて、産婦人科志望にとって最高

の環境だと思います。産婦人科に限らず、指導熱心な先生方とアカデミックな臨床を経験することも可能です。プレゼンテーションやスライド発表の機会が多いことも大学病院ならではの魅力だと思います。

選択期間も十分にあるため、産婦人科医を目指すにあたって密に関わる診療科を選択し、幅広い視野で臨床に携わることが可能です。皆様と一緒に働くことを楽しみにしています。



2023年度
産婦人科医育成コース
肥田 彩也子
(2年間、慶應義塾大学病院)

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

基礎研究医コース

2025年度定員 2名(予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 臨床研修と基礎研究の両立を可能とする基礎医育成コースです。

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1~3診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)	選択 (~40週) (基礎医学系教室での研修期間を含む)	

○一般外来研修は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療で4週以上行います。

○原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。

○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。

○2年次の選択研修期間中に、16週以上24週未満の間は基礎医学系教室に所属し研究活動を行います。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

基礎医学系教室での指導分野

- 1 解剖学
- 2 生理学
- 3 薬理学
- 4 医化学
- 5 分子生物学
- 6 衛生学公衆衛生学
- 7 感染症学
- 8 病理学
- 9 微生物学免疫学
- 10 法医学
- 11 医療政策・管理学
- 12 臨床遺伝学・先天異常学
- 13 細胞組織学
- 14 脳科学
- 15 拡張知能医学
- 16 がん免疫学

MESSAGE 05

【基礎研究医コースの研修医からのメッセージ】

研究遂行能力を持った医師になるために

医学は自然科学であり、診療の実践、ひいては医学の進歩のためには、科学的な思考が不可欠です。基礎研究医コースは、疾患を診療する医師と、科学的に新たな知見を生み出す研究者の双方に必要なトレーニングができる、またとない研修プログラムです。

医師が日々行う診断・治療は科学的なエビデンスに立脚している必要があります。先行研究・知見への批評能力、エビデンスに沿った診断・治療の実践は全ての医師に求められている力です。更に、未知の事柄に対する研究能力を持った医師は、それまでの技術では診断・治療のできなかった疾患の克服に貢献するという大きな役割を持っています。

慶應義塾大学病院には世界一流の研究を行なっている基礎医学系教室が併設されており、本邦において基礎研究医の養成所として比類なき施設です。創設者である北里柴三郎・福澤諭吉両人の意志を受け継ぎ、「基礎臨床一体型医学」「疾患を自然のものと諦めず、常に克服のために全力を尽くす」という病院の風土があります。

臨床科のローテーションで医師としての考え方や臨床現場のニーズを知り、選択期間中の最大半年間はフルタイムで研究活動に勤しむことができます。研究活動中も他のコースの研修医と同じ待遇であるところが、特筆すべき本コースの特徴です。

臨床・研究の双方を経験してきた先輩方の仲間入りをして、一緒に未来の医学を開拓しませんか。



2022年度
基礎研究医コース
佐藤 正幸
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

「診療のできる基礎研究医」を養成し、キャリア形成の幅を広げます。

世界的に基礎医学研究の重要性が再認識されている中で、厚生労働省が新たに打ち出したプログラムです。基礎医学研究に意欲がある方を対象に、慶應義塾大学が有する恵まれた環境とリソースを活用して、臨床研修と基礎医学研究の両立を目指します。1年目には各診療科領域の指導医から基本的診療やチーム医療を学ぶと共に、受け持った症例や遭遇した医療上の未解決点を研究課題へと変換する思考法を学びます。また、2年目の選択研修期間のうちの一定期間（16週～24週）基礎医学系教室に所属して医学研究を行うことができます。このコースでは臨床研修の到達目標を達成しな

がら「診療のできる基礎研究医」を養成しますので、社会からのニーズに応えるだけでなくあなたのキャリア形成の幅を大きく広げることにつながります。慶應義塾大学医学部はこの新たなプログラムの目的の達成に最適な環境を提供できますので、是非挑戦してみてください。本コースの第1期の研修医からも、すでに好評をいただいているいます。

[プログラム責任者] 卒後臨床研修センター
平橋 淳一

M E S S A G E f r o m R E S I D E N T S

【研修医からのメッセージ】

敷居が高いのでは…,と思われるがちな慶應義塾大学病院。
けれど、素顔は明るく、熱意あふれる先生ばかりです。
現在、研修医として活躍している先輩たちの生の声をご紹介します。

MESSAGE 06

【他大学出身の研修医からのメッセージ】

医師としての第一歩を慶應義塾大学病院で

皆さん、こんにちは。私が大学一貫コースを志望した理由は以下の2点です。

1つ目は、医師としての土台を築く重要な期間である初期研修の間に、common diseaseだけでなく大学病院ならではの稀有な症例や最先端の治療・研究に触れたいと考えたからです。当院は特定機能病院や臨床研究中核病院等に認定されており、それぞれの専門分野の第一線で活躍されている先生方から直接ご指導いただける点がとても魅力的だと思います。2つ目は、自由選択期間が40週間と長く全ての診療科から選択できるため、初期臨床研修終了後の進路についてじっくりと悩むことができると考えたからです。自分の目標に沿ったオリジナルのプログラムを通して自分の将

来像を明確にし、ロールモデルとなる先生を見つけることができます。

研修が始まった当初は分からぬことばかりですが、困った時には指導医の先生方や2年生の先輩方が親身になって教えてくださいます。特に当直では、手技やファーストタッチの経験を数多く積むことができ、上級医の先生方から手厚いフィードバックを受けることでより学びを深めることができます。また同期は全国から集まっており出身大学の垣根なく仲が良いので、お互いに切磋琢磨しながら楽しく充実した日々を過ごしています。

研修病院を迷われている方は、ぜひ一度見学にいらしてください。皆さんと一緒に働くことを心より楽しみにしています。



2024年度
大学一貫コース
菅 紗有里
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE 07

【他大学出身の研修医からのメッセージ】

大学病院での研修

みなさん、大学病院での研修と聞くとどのような研修をイメージしますか？

手技が少ない、Common Diseaseをあまり経験できないなど初期研修としてはマイナスなイメージが多いかもしれません。

実際研修医になるまでの僕のイメージはそうでしたし、事実、市中病院の研修と比較するとそういったイメージは間違いではないです。

ただ大学病院で研修してみると、最先端の治療や市中病院ではなかなか遭遇することのない希少な症例に出会うことができたり、Commonな症例や基本的な手技も決してないわけではありません。

また大学病院で実際に働いてみる経験は将来的に医局への入局を考えている先生方にとっては進路決定の一助になるのではないでしょうか。

このように大学病院の研修にも市中病院研修に

はない魅力があり、大学と市中のどちらでも研修を行うことができるのが当コースの魅力であると私は思います。

私は1年目を市中病院、2年目を大学病院で研修していますが、1年目の市中病院ではCommon Diseaseや基本的な手技を学び、2年目ではその経験を活かしつつ市中病院では出会えなかった症例や最新の治療を学ぶことができています。

また当コースで選択できる病院にはマッチング上位の人気病院が数多く含まれているのも魅力の一つだと思います。

慶應大学病院では他大学出身の研修医も多く研修しており、たくさんの仲間たちと共に働くことができます。

少しでも慶應での研修に興味を持っていただければ一度見学に来てみてください。



2023年度
地域-大学循環コース
高橋 耕平
(1年目、横浜市立市民病院
2年目、慶應義塾大学病院)

日野市立病院

(東京都 日野市)



【協力型病院からのメッセージ】

緑豊かな環境で市中病院のマンツーマン指導と自由な科目選択



日野市立病院
井上 宗信 先生

当院は最寄り駅であるJR中央線豊田駅から徒歩10分程度の閑静な住宅街に立地しています。豊田駅から新宿駅までは中央特快を使えば37分程度とアクセス良好でありながら、病院周辺には自然豊かな公園が隣接し、新鮮な空気と四季折々の風景を楽しむことができます。当院は二次救急病院であり、内科・外科・整形外科をはじめとした17診療科で構成され、在籍医師は慶應義塾大学医局から

の派遣医師が多くを占めています。初期臨床研修では、指導医とのマンツーマン体制で知識や手技を取得するようにしており、また、内科や外科において専門医不在の科目は立川共済病院や都立多摩総合医療センター、救急では立川市の災害医療センターで3ヵ月間の三次救急のプログラムも選択が可能であり、不足のないプログラム整備を心掛けています。また、当院は地域医療支援病院であり、内科をはじめとした全診療科で近隣医療機関からの紹介患者を受け入れ、地域の医療を担うとともに専門的な医療を実践します。今後も地域医療機関や慶應義塾大学との連携を保ちながら、初期臨床研修医にとって有益な研修プログラムとなるように計画・推進していきます。

REPORT 01

【協力型病院研修レポート】

地域を支える病院で、幅広く医療を学ぶ

私が日野市立病院を選んだ理由は、大学病院と役割の異なる地域の病院で研修を行うことで、自分の医療に対する視野を広げたいと考えたからです。ボリクリを行った大学病院では医学的に難しい症例が多かったのですが、当院では疾患としてはcommonなものの患者さんの価値観や生活を考えた対応を要

する症例が多いのが特徴です。両者での研修を通して、医療を幅広く学べる期待しています。また、当院は規模がちょうどよく、科や職種を超えた風通しの良さがあるので、病院全体の動きを把握しながら研修できるのも大きな魅力だと思います。



2024年度 地域-大学循環コース
正好 奏斗
(1年目、日野市立病院
2年目、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

8:30 ~ 9:00 9:00 ~ 10:00 10:00 ~ 12:00 12:00 ~ 13:00 13:00 ~ 14:30

採血

病棟の患者さんの採血を行います。

回診

カルテで昨夜の出来事や検査結果を確認した後、患者さんの部屋を回ります。

病棟業務

カルテを書いて、指導医と相談の上、検査などのオーダーを入れます。

昼食

研修医室で、同期や先輩と昼食・休憩を取ります。

カンファレンス

担当患者さんの経過や問題点を科内でプレゼンします。クルーズをしていただけることもあります。

14:30 ~ 17:00

病棟業務

新しく入院する患者さんの病歴を確認して、検査・点滴・処方のオーダーをします。

研修風景

毎週水曜のお昼休みに、各回テーマを決めて上級医によるランチクルーズを行っています。



周辺環境

市内には用水路や湧水地が多くあり、水辺に恵まれています。当院から徒歩10分程度の場所にも湧水の流れる公園があります。



院内ラウンジ写真

日差しの差し込むラウンジにはピアノがあり、定期的に院内コンサートが行われます。



地域医療研修
REPORT

医療法人財団はるたか会
あおぞら診療所うえの
(東京都 台東区)

[地域医療研修病院からのメッセージ]

難病や障害のあるお子さんを支える小児在宅医療の実践



あおぞら診療所うえの
院長
戸谷 剛 先生

あおぞら診療所うえのは、小児在宅医療の啓もう普及をミッションに自宅療養が困難な人工呼吸器や気管切開など医療的ケアを要する未熟児、重度の難病や障害また終末期のお子さんと、そのご家族の暮らしと成長を支える在宅訪問診療所として、東京23区の東地域を対象に訪問診療を行っています。厳しい病気を抱えてもご家族に愛され輝いて成育する姿を、高度医療を実践する慶應義塾大学病院を

はじめ大学病院・地域病院・療育医療機関とともに支援しています。また在宅看取りを含む「最期の生活を安寧に過ごせる」ための緩和ケア医療も提供しています。研修では訪問診療医とともに診療を経験しながら、医療・福祉・教育・地域と連携し、お子さん・ご家族を「支え・紡ぎ・育くむ」在宅医療・緩和医療の技術の基礎を学べます。また、レスパイト施設・レスパイクト旅行・バーベキュー大会など、お子さ

んご家族が、大切な想い出を紡ぐきっかけづくり～ホスピス活動（尊厳の回復支援活動）も行っています。熱意ある皆さんのが参加お待ちしています。

医科

REPORT
02

[地域医療研修レポート]

患者と家族それぞれに合わせた医療を考える

高次医療機関で診療している難病を持った子どもたちは、頻回な医療機関への通院が難しく、訪問診療・往診で家庭に訪問する必要があります。伺った家庭はそれぞれ千差万別で、医療に対するニーズや医療を家庭で行うキャバシティが一様ではないことに衝撃を受けました。

医学的に最も適切だと思われる治療法が、患者さんやご家族の大きな負担になる場合もあり、必ずしも最良の選択となるわけではないと知りました。病院では見えにくい患者さんの生活を慮ることが大切だということが分かり、小児科医を目指す私にとって大きな糧になりました。



2022年度 基礎研究医コース
佐藤 正幸
(2年間、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

9:00 ~ 10:00

カルテ予習

電子カルテで訪問診療・往診の予習をします。

10:00 ~

車移動

東京都23区東部地域の患者さん家庭に車で移動します。移動中にノートパソコンで電子カルテ記載や勉強をすることができます。

12:00 ~

昼食

道中の色々なお店で昼食をとることができます。

往診

突然的な状態の変化で往診を請された患者さんの家庭を訪問し、診察・治療を行います。

17:00 ~ 18:00

まとめ

診療所に戻って1日のまとめを行い、知らないかったことの勉強や、明日への目標を考えます。

診療風景

病状説明だけでなく、時にはお母さんと世間話することも大切な時間です。



受付周辺

院内全体がグリーンを多く取り込んだりラックスできる空間になっています。



上野公園桜・周辺風景
JRの線路を挟んだ反対側は上野公園です。今年も桜がきれいに咲きました。



OUTLINE of PROGRAM

[専修医研修プログラム紹介]

専門医育成一貫教育プログラム

▶▶▶ 本プログラムが支援する卒前教育から生涯教育までの医師キャリア形成システム
—卒後10年までの専門医育成を関連教育病院と連携して推進—

慶應義塾大学病院は、1920年の開院以来、患者さんに優しく、患者さんに信頼される、患者さん中心の医療を実践し、「豊かな人間性と深い知性を有する医療人」の育成を理念としています。

初期臨床研修では、わが国トップのアカデミックな医療環境のもとで、各人が高いモチベーションを持って、基本的な臨床能力を幅広く修得します。その特徴として、1)多彩で豊富な臨床症例の経験、2)熱意ある、優れた指導医により、最新の医療知識と臨床技能を確実に身につけられる研修システム、3)将来の目標とする医師像（キャリア・パス）を考えながら、希望診療科を選択できる柔軟な研修プログラムがあります。

専門医研修では、当院が、指導医と研修環境の充実した、わが国有数の関連教育病院と緊密なネットワーク（Keio Medical Alliance）を形成し、最先端の医療知識と臨床技能などの高い専門性（Speciality）を確立するとともに、地域医療を支える総合的な診療能力を涵養します。一方、専修医（専攻医）プログラムと大学院博士課程を併行履修できるシステム（※）などを活用し、基礎-臨床医

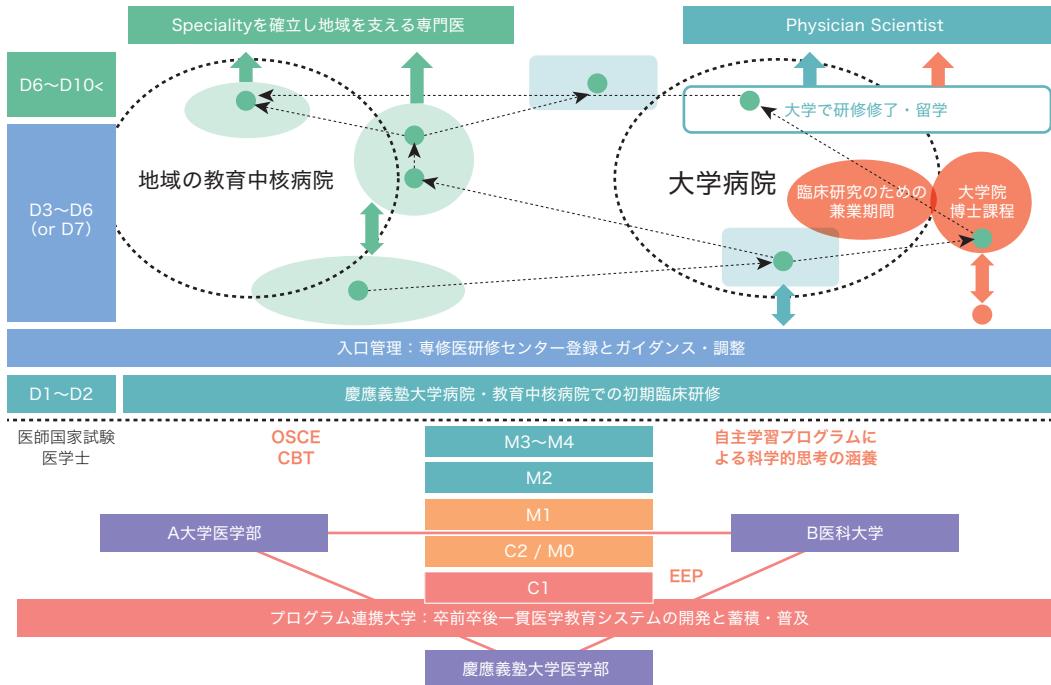
学一体型の研究マインドを有する臨床医（Physician Scientist）を育成します。

以上のように、当院の卒後医学教育（臨床研修）は、1)患者さん中心のメディカル・プロフェッショナリズムの実践、2)高度な専門知識や診療技術の修得、3)未来の医学・医療を先導する「科学的思考と研究開発能力」、グローバルな視点を有する専門医の育成を目標とし、全人的医療、高度先進医療、地域医療、先端的臨床研究を実践する「質の高いプログラム」を提供します。そして、指導医と専修医・研修医が、本学の伝統的教育システムである「半学半教（指導者と学習者が生涯にわたり、互いに教え合い、学び合う）」のもと、日々の医療現場の中で、医学・医療の研鑽を積んでいます。

2018年度から新専門医制度による専修医（専攻医）研修を開始し、基本領域19診療科の専門医研修プログラムの充実に取り組んでいます。また、日本専門医機構認定の共通講習会（医療倫理・医療安全・感染対策）を年3回程度、開催しています。

※新専門医制度における専修医（専攻医）研修と大学院医学研究科博士課程の併行履修については、各診療科によって異なります。（2024年5月現在）

キャリアデザインの流れ



慶應義塾大学病院の変遷

1. 医学部の設立と「慶應医学」の確立 1917-1941



1917年 医学科予科教室（三田山上）

2. 戦災と復興 1944-1963



1950年代 病院本館（木造）を臨む医学部全景



1950年代 病院本館受付

3. 教育・研究・診療の充実への模索 1965-1984



1965年 病院1号棟竣工時



本館臨床講堂での実習風景

MESSAGE 08

[専修医からのメッセージ]

一生の財産に

私は慶應義塾大学病院・地域一大学循環コースでの初期研修を経て、現在はリハビリテーション医学教室の専攻医プログラムに所属しています。

当院の専門医研修プログラムを選んだ大きな理由は、非常に手厚い指導体制です。リハビリテーション医学は、多彩な疾患の知識のみならず、臨床での経験値も大きく診療の質へ影響します。経験豊富な指導医の先生方が数多く在籍されていること、そしていつでも気軽に相談できるアットホームな雰囲気があり、当院での研修を強く志しました。専門医研修が始まり、日々臨床での疑問が生じますが、この恵まれた環境の中のおかげで充実した研修を送っています。

当院の初期研修プログラムでの経験が、今になっ

てとても生かされていると感じています。協力施設での研修では、common diseaseや救急外来での対応・基本的な手技・病棟管理などの医師としての基礎を身につけられました。一方大学病院では、自分の志望科および関連の強い科をローテートし、様々な領域のプロフェッショナルの先生方から直接レクチャーしていただきました。専攻医になった今も、お世話になった先生に相談させていただく機会があり、ここで得た人脈も大きな財産となっています。大切な医師としての最初の2年間を、素晴らしい環境の中で過ごせたことに感謝しています。

みなさんも自分の将来にむけて、是非当院の研修プログラムを考えてみてください。



専修医D3（リハビリテーション科）

遠藤 龍介

2022年度採用研修医
地域-大学循環コース修了

MESSAGE 09

[専修医からのメッセージ]

成長できる指導体制がここにある

はじめまして。私は当院での初期研修を経て、小児科教室の専攻医プログラムに参加しています。

もともと小児科医を志していた私は、小児科はもちろん、小児外科や産科など子どもに携わる科を優先的にローテートでき、さらには関連病院の小児科でも学べる小児科医育成コースを選択しました。そして2年間の初期研修のうち8ヶ月を小児科で過ごし、複数のチームで構成された専門性の高い医療や、熱心な指導医が多く教育的な環境に魅力を感じて、今年度入局しました。

しかし、これは小児科に限ったことではありません。初期研修を振り返ると、当院はどの科にもロールモデルとなるような先輩医師が多く、また指導体制が確立しているため、研修医が成長できる機会

が十分に与えられていました。日々の診療のみならず、学会発表や論文作成などの指導も手厚く、さらには若手医師に向けた勉強会も頻繁に開催されていました。技術的と知識的な面、両方において学べる環境が整っています。

実際に当院の初期研修からそのまま専攻医プログラムに参加する医師が毎年多数います。切磋琢磨し合える初期研修からの仲間がいることで、専攻医になってからも精力的に研修に取り組むことができます。

専攻医プログラムも見据えて、充実した教育環境で一緒に研修しませんか。是非一度見学に来て、当院の良さを感じていただければと思います。



専修医D3（小児科）

齊藤 あむな

2022年度採用研修医
小児科・産婦人科医育成コース
(小児科)修了

4. 未来への継承 1986-2017

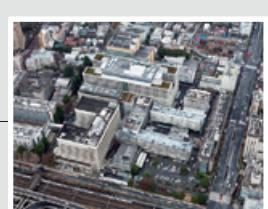


2001年 総合医科学研究棟竣工時



3号館（南棟）

5. 世界に冠たる総合医学府の構築を目指して 2018-



2018年 新病院棟竣工時



2022年 グランドオープン



FACILITIES [施設紹介]

病院正門を入ると左側には緑の木立が並びます。図書館や近代的な病棟、最新設備が揃った外来棟。神宮外苑や新宿御苑に囲まれた慶應義塾大学病院は、癒されながら伸び伸び学習可能な研修空間です。

研修環境



研修医寮

病院敷地内に紅梅寮、当院から徒歩10分以内にワンルームマンションタイプのクレール御苑前とセレスト四谷三丁目の全32部屋（単身者用）の研修医寮があります。寮費は敷地内の寮が22,000円、ワンルームタイプ（約23m²）が約6万円です。（応募多数の場合抽選）



外観



エントランス



宅配 BOX



キッチン



[入寮者からのメッセージ]

寮は病院から徒歩10分弱で着く場所にあります。病院から寄りの駅も近いため、休日に出かけるのも便利です。部屋の内装はとてもきれいで、快適に生活できます。寮費が安い点も魅力の一です。都内での生活が初めての人にとっておすすめできる寮だと思います。

2023年度 大学一貫コース 門田 健明（2年間、慶應義塾大学病院）

信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

メディアセンターは皆さんの診療・研究を支える情報源の宝庫です。伝統ある建屋でくつろぎのひとときを過ごすとともに、いつでもどこでも電子的に論文入手できる魅力を存分に味わってください。

研修医ラウンジ（1号館2階）

研修医が学習スペースとして、24時間利用することができます。教育研究ネットワークにアクセス可能な無線LANも完備しています。

院内施設



スターバックス

〈1号館1階〉 広々としたくつろぎのスペースで、つかの間の休憩を。スタッフ専用のスペースもあります。



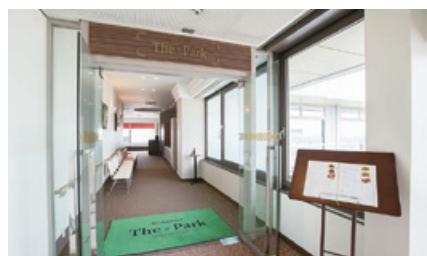
ナチュラルローソン

〈1号館2階〉 24時間、年中無休



ファミリーマート

〈2号館2階〉 24時間、年中無休



レストラン ザ・パーク

〈2号館11階〉 緑豊かな神宮外苑を一望できる帝国ホテルのレストランです。



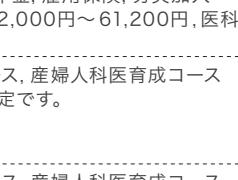
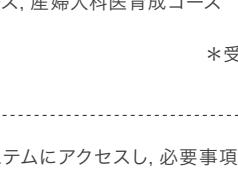
信濃町生協

〈病院棟裏〉 1階では弁当、菓子、飲物が販売され、2階は書籍売場になっています。

15

SCHEDULE & INFORMATION [年間スケジュール&募集要項]

年間スケジュール (2024年度予定)

学生		研修医1年目	研修医2年目
5月	11日	歯科・口腔外科プログラム説明会	研修医・専修医オリエンテーション, 研修医ワークショップ, 電子カルテオリエンテーション, CSL実習,点滴調剤研修, スタンドードブリコーション試験等 (4月初旬~)
	29日	基礎研究医コース研修医採用試験	
6月	1日	医科プログラム説明会, オープンホスピタル	研修医・専修医オリエンテーション, 電子カルテオリエンテーション (4月初旬) オープンホスピタル (6月) 専修医説明会
	6日	医師マッチング参加登録開始	
7月	11日	歯科医師マッチング参加登録開始	   
	13日	医師プログラム説明会	
	13日	歯科・口腔外科研修医採用試験 (1次)	
	27日	第1回医科研修医採用試験 (地域・大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース)	
8月	30日	歯科医師マッチング参加登録締切	
	1日	医師マッチング参加登録締切	
9月	17日	歯科・口腔外科研修医採用試験 (2次)	
	14日	第2回医科研修医採用試験 (地域・大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース)	
10月	8日	歯科医師マッチング希望順位表登録締切	
	10日	医師マッチング希望順位表登録締切	
	22日	歯科医師マッチング結果発表	
	24日	医師マッチング結果発表	
11月			
12月		地域-大学循環コース研修先決定	
1月			
2月	上旬	歯科医師国家試験 (予定)	
		医師国家試験 (予定)	
3月	中旬	医師・歯科医師国家試験発表	

医科研修医募集要項

- 1. 募集人数** 地域-大学循環コース : 各1年間 協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院 28名(予定)
 大学一貫コース : 2年間慶應義塾大学病院 20名(予定)
 小児科医育成コース : 2年間慶應義塾大学病院 2名(予定)
 産婦人科医育成コース : 2年間慶應義塾大学病院 2名(予定)
 基礎研究医コース : 2年間慶應義塾大学病院 2名(予定)

- 2. 待遇** ・給与(年額)約360万円(当直料を含む)・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災加入
 ・宿舎有り(全32部屋)(原則、抽選により決定), 費用は月額22,000円~61,200円, 医科および歯科で共有)(2024年3月現在)
 ※協力型臨床研修病院においてはその施設の待遇に準ずる。

- 3. 選考内容**
 - 地域-大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース
 卒後臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。
 - 基礎研究医コース
 1)研究内容についてのプレゼンテーション、2)面接

- 4. 選考日および募集期間**
 - 地域-大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース
 第1回 2024年7月27日(土)
 第2回 2024年9月14日(土)
 - 基礎研究医コース(選考は終了しました。)
 試験日: 2024年5月29日(水)

*受験はどちらか一方のみに限る。

- 5. 出願手続き**
 - ① 応募方法
 卒後臨床研修センターホームページのWebエントリーシステムにアクセスし、必要事項を登録してください。
 - ② 応募書類
 卒後臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。

- 6. 問い合わせ先** 慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター
 mail: med-srk-center@adst.keio.ac.jp
 ※最新情報は卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください。

▶ <http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/medicine.html>



OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

歯科・口腔外科プログラム

定員9名

▶▶▶ 2年間を慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。

※2年次ローテーションは順不同												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	Aグループ	歯科		口腔外科		歯科		口腔外科		歯科	口腔外科	
	Bグループ	口腔外科		歯科		口腔外科		歯科		口腔外科		
2年次	Aグループ	歯科		麻酔科		歯科		口腔外科		歯科	口腔外科	
	Bグループ	口腔外科		歯科		歯科		麻酔科		歯科	麻酔科	
	Cグループ	麻酔科		口腔外科		口腔外科		歯科		歯科		

MESSAGE 10

[研修医からのメッセージ]

当院だからこそ学ぶことのできるレベルの高い歯科医療

慶應義塾大学病院の当プログラムは2年の研修期間を通して、様々な分野をすべて高いレベルで学ぶことのできる、歯科医師人生のスタートとして確固たる基盤を作るのに最適な環境です。1年目は歯科と口腔外科を、2年目はそれに加えて麻酔科をバランスよくローテーションで学ぶことができます。歯科では、一般的な歯科治療だけではなく、義歯制作や歯周外科治療など一歩踏み入った内容を指導医に指導をいただきながら経験することができます。また、ペインや有病者歯科なども一から学ぶことが可能です。口腔外科では、口腔がんの治療や顎変形症などの入院患者さんの病棟管理をチームの一員として経験することができます。また抜歯などの観血的処置といった歯科・口腔外



2023年度
歯科・口腔外科プログラム
茂木 雄嗣
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from PROGRAM STAFF

歯科と口腔外科をバランスよく研修できる充実したプログラムです

2年間慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。歯科分野と口腔外科分野のどちらにも充実した専任のインストラクターがおり、歯科分野では指導医の資格を持つ歯周病専門医、補綴専門医、顎関節専門医が高いレベルでの研修を行います。口腔外科においても指導医の資格を持つ口腔外科専門医から、基本的な手技から専門的な治療までを学ぶことができます。口腔外科では、外来だけでなく、病棟での周術期管理も研修します。研修2年目では、歯科、口腔外科のローテーション

に加え、麻酔科研修を行い全身管理についての理解を深めています。毎週、各分野のカンファレンスがあり、業務としてのみならず、知識としても身につくと確信しています。このように、他の施設にはないオンリーワンの魅力を活かして、有益な研修生活を送ってほしいと願っています。そして、研修医のあとも、継続して専修医として臨床を進めようとする道、大学院生として臨床の疑問を研究で明らかにしようとする道など、いろいろな可能性を用意して皆さんをお待ちしています。



歯科・口腔外科 教授
中川 稔昭



当科では歯科と口腔外科をバランス良く研修することができるよう、「オンリーワン」のプログラムをモットーに皆さんをお待ちしております。

歯科・口腔外研修医募集要項

1. 募集人数 9名

2. 待遇 約260万円(年額)(当直料別) ・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災加入
・宿舎有り(全32部屋(原則、抽選により決定))、費用は月額22,000円~61,200円、医科および歯科で共有)(2024年3月現在)

3. 選考内容 筆記試験(歯科、口腔外科全般から出題)、英文読解、面接

4. 選考日 1次 2024年7月13日(土)
2次 2024年8月17日(土)

5. 募集期間 2024年5月13日(月)~7月11日(木) ※最終日は17時締切

6. 応募資格 大学歯学部または歯科大学を2025年3月に卒業予定の者
・歯科医師臨床研修マッチングに参加する者
・以前に外来見学あるいは説明会に参加したことが無い方は研修医担当主任にE-mailにて連絡をすること。
(歯科・口腔外研修医担当主任 角田 和之 E-mail:keidentkensyu@gmail.com)

7. 応募書類 「基本情報」「補足事項」「自薦書」「推薦状」「成績証明書(写)」「卒業見込証明書(写)」「応募者を良く知る者からの推薦書」「CBT共用試験の結果(スコア)(写)」

8. 問い合わせ先 慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター
mail: med-srk-center@adst.keio.ac.jp

※最新情報は、卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください

▶ <http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/dentist.html>





Access

- JR 総武線「信濃町」駅下車, 徒歩約1分
- 地下鉄 都営大江戸線「国立競技場」駅下車（A1番出口）, 徒歩約5分
丸の内線「四谷三丁目」駅下車（1番出口）, 徒歩約15分
- バス 半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車（0番出口）, 徒歩約15分
新宿駅西口・品川車庫前（品97）「信濃町駅前（慶應病院前）」下車
早大正門・渋谷駅東口（早81）「四谷第六小学校入口」下車



慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

Tel.03-5363-3249

Fax.03-5363-3485

e-mail:med-srk-center@adst.keio.ac.jp
<http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/>